

ステッププール河道を考慮したダム流入土砂量の推定と検証

ESTIMATION OF SEDIMENT INFLOW TO A DAM WITH CONSIDERATING STEP-POOL CHANNEL

長谷川 和義¹・中村 健作²

Kazuyoshi HASEGAWA and Kensaku NAKAMURA

¹北海道大学大学院工学研究科

²北海道大学大学院工学研究科

要旨

山地域からの土砂流出量の推定、すなわち土砂生産予測はさまざまな方法で試みられてきた。土砂の1次生産に強く関連する降雨強度や地形量と下流での堆砂量とを結びつける解析法として、因子相関法が挙げられる。降雨流出による浮遊砂や土砂礫などの侵食堆積・地形変化と、下流での堆砂とを結びつける解析法として流域土砂流出法が挙げられる。しかし、下流域への土砂流出は、山腹斜面の剥落や崩落という1次生産を通じて溪岸に堆積した土砂が、さまざまな規模の出水によって2次的に輸送されて起こることが多い。このような観点から、2次輸送としての側岸侵食や河床波を伴う土砂移動を重視し、これらと下流での堆砂量とを結びつける解析もおこなわれるようになっている。本研究は、第三番目の方法、すなわち2次的に侵食・堆積がおこなわれる土砂流出について解析を行なおうとするものである。